

# 平成27年度名寄市学校教育推進計画

## 【基本理念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

## 【学校経営の方針】

### 1 学校の自主性・自律性の確立

- (1) 学校の自主性・自律性を発揮し、時代の要請に応える創意に富む学校経営の充実に努める。
- (2) 本市の自然環境や人材などの教育資源を生かしながら、特色のある多様な教育活動を展開し、児童生徒が意欲的に学校生活に取り組むことができる、特色ある学校づくりの推進に努める。

### 2 確かな学力を育てる教育の推進

- (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育成する言語活動の充実に努める。
- (2) 豊かなコミュニケーション能力を育てるために相手の考えや意見を正しく理解し、自らの考えや意見を適切に伝える教育活動の充実に努める。

### 3 豊かな心を育てる教育の推進

- (1) 基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、本市が有する自然環境や歴史、伝統、文化などの特性を生かしながら、自らの生き方を支える人間尊重の精神や生命への畏敬、思いやりの心や美しいものに感動する心など豊かな心を育成する道徳教育の充実に努める。
- (2) 社会性や豊かな人間性を育み、社会の一員としての自覚を促すため、学校と地域社会との連携の下で、自然環境など本市が有する優れた教育資源を生かした多様な体験活動やボランティア活動等の充実に努める。

### 4 健やかな体を育てる教育の推進

- (1) 生涯にわたって運動等に親しむ資質や能力を育成するため、学校と家庭、地域社会が連携を深めながら、運動する機会の拡充に努める。
- (2) 日常生活において自己の健康の保持増進を図るために必要な実践力を身に付け、生涯を通じて健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、学校と家庭、地域社会が相互に連携を深めながら、健康教育の推進に努める。

### 5 学校評価・学校職員評価の工夫

- (1) 重点目標の達成状況等について評価する自己評価の実施とその公表や保護者・地域住民等による学校関係者評価の充実に努める。

- (2) 学校評価を効果的に生かすことで今日的な教育課題を的確に受け止め、その課題解決を図り、活力ある学校経営の充実に努める。
- (3) 教職員の特質や経験を生かす校務分掌を組織し、学校職員評価を機能させながら教育目標を効果的に達成する学校経営の推進に努める。

## 6 危機管理体制の確立

- (1) 生命の尊さを自覚し、校内外の事故や交通事故から自らを守る能力や態度を身に付けさせる安全指導の充実に努めるとともに、家庭や地域社会と一体となった事故の未然防止体制の確立に努める。
- (2) 教職員の危機管理意識を高めるとともに組織体制の確立と機能の充実に努め、危機管理マニュアルや安全マップの充実、登下校時の通学路における児童生徒の安全確保などに努める。
- (3) 校内研修等において服務規律ハンドブック等を活用し、教職員の服務規律の保持の徹底に努める。

## 7 開かれた学校づくりの推進

- (1) 学校の教育活動その他の学校運営の状況について保護者等に積極的に情報提供する取組の充実に努める。
- (2) 学校評議員制度の充実に努めるなど、学校と家庭、地域社会との連携をより深め、期待と信頼に応える開かれた学校づくりの推進に努める。

## 8 学校間の連携・接続の推進

- (1) 幼稚園、保育所、小・中学校間、高等学校との滑らかな接続に配慮した教育計画を作成し、実施に努める。

## 【学校教育活動の重点】

### 1 教育課程

- (1) 学習指導要領の示すところに従い、知・徳・体の調和のとれた児童生徒の育成を目指し、地域や学校の実態及び児童生徒の心身の発達の段階や特性を十分考慮して、適切な教育課程を編成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努める。
- (3) 教育課程全体のバランスを図りながら、地域や学校及び児童生徒の実態等を考慮し、学習指導要領に基づいて各教科等の教育活動を適切に実施するための授業時数を具体的に定め、指導に必要な時間の実質的な確保に努める。
- (4) 学校がその目的を達成するため、地域や学校の実態等に応じ、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域社会との連携を深めることに努める。また、学校相互の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会の設定に努める。

### 2 学習指導

- (1) 授業を効率的に進め、児童生徒の自ら学ぶ態度を養うよう、全小中学校で一貫して取り組む学習規律や学校として必要な学習規律の徹底に努める。

- (2) 国語科における指導はもとより、その他の教科等においても、児童生徒による発表や討議、ノート記述、レポート作成などの言語活動を適切に位置付け、豊かな言語能力を育成する指導の充実に努める。
- (3) 児童生徒が日常生活における言語の役割や機能などについて意識や関心をもって正しい国語を用いるよう指導することが必要であり、また、教師自身が児童生徒より一層言語に対する意識と関心をもって指導に当たるとともに、学校生活全体における言語環境の整備に努める。
- (4) 体験的な学習や基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習を重視するとともに、児童生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習の促進に努める。
- (5) 自主的に学ぶ態度を育てるために、児童生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れた指導の充実に努める。
- (6) 児童生徒が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童生徒の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。
- (7) 児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価するとともに、指導の過程や成果を評価し、指導の改善を行い学習意欲の向上に生かす評価の工夫に努める。
- (8) 家庭との連携を図りながら、授業の内容と関連付けた宿題を与え、予習－授業－復習のサイクルに基づく学習習慣の確立や学習内容の定着を図る指導の充実に努める。
- (9) 児童生徒にコンピュータ等の操作の仕方や情報モラルを身に付けさせ、情報手段を効果的に活用できるようにするための学習活動の充実に努める。
- (10) 図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動の充実に努める。
- (11) 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めたり、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる指導の充実に努める。

### 3 道徳教育

- (1) 校長が道徳教育の方針を明確にし、指導力を発揮して、全教師が協力して道徳教育を展開するため、道徳教育推進教師を中心として、道徳教育の全体計画と道徳の時間の年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 校長の方針の下、学校が組織体として一体となった道徳教育を進めるために、道徳教育推進教師の役割を明確にし、全教師が力を発揮できる体制の整備に努める。
- (3) 道徳的価値の自覚を深める指導を一層充実することができるよう、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動を生かすなど、児童生徒の発達の段階や特性等を考慮した創意工夫ある指導に努める。また、先人の伝記、自然、伝統と文化、スポーツなどを題材とし、児童生徒が感動を覚えるような魅力的な地域教材を道徳の時間の年間指導計画等に位置付けて効果的な活用を努める。
- (4) 児童生徒が道徳的価値について自ら考えることができるよう、「私たちの道徳」の趣旨を生かし、道徳の時間を振り返ったり、自らの心の成長を記録したりするなどの活用方法の工夫に努める。

#### 4 特別活動

- (1) 各教科、道徳、外国語活動及び総合的な学習の時間などの指導との関連を図るとともに、家庭や地域の人々との連携、市民文化センター大ホールEN-RAY（エンレイ）等の社会教育施設の活用などを工夫した全体計画や年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 学校や児童生徒の実態に即して指導のねらいを明確にした題材を設定し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる学級活動の充実に努める。
- (3) 自発的、自治的な活動を促す児童会・生徒会活動、クラブ活動や部活動、その他の教科外活動において児童生徒自らが意欲的に参加する効果的な指導体制の確立に努める。
- (4) 全校または学年を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養う学校行事の工夫に努める。

#### 5 総合的な学習の時間

- (1) 学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、育てようとする資質や能力及び態度、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価計画などを示した全体計画及び年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 各教科、道徳、外国語活動及び特別活動で身に付けた知識や技能等を相互に関連付け、学習に生かすとともに、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究的な学習過程を確立し、それが発展的に繰り返される学習活動の工夫に努める。
- (3) 互いの発見の共通点と相違点を考えたり、異なる視点から意見を交換したりするなど、他者と協同して課題を解決しようとする学習活動の展開に努める。
- (4) 学校図書館の活用、他の学校との連携、各地区の公民館、市立図書館、市立天文台、北国博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫に努める。

#### 6 生徒指導

- (1) 児童生徒の自己実現を図るため、学習指導を含む日常の学校生活において、児童生徒の発達段階に応じた自己選択や自己決定の場や機会を設定し、自己指導能力を育成する取組の充実に努める。
- (2) 児童生徒理解のねらいを明確にし、資料収集や研修などを通して多面的・総合的な理解に努めるとともに、児童生徒の悩みや困難の解決を援助する教育相談の充実に努める。
- (3) いじめや不登校、薬物乱用、ネット上のいじめや出会い系サイト等による福祉犯被害などの未然防止を図り、早期発見・早期指導を行うため、校内の協力体制を確立するとともに、家庭や地域社会、生徒指導連絡協議会や教育相談センター等の関係機関との連携強化に努める。
- (4) 学校いじめ防止基本方針に基づき、校長の強力なリーダーシップの下、教職員の一致協力体制を確立し、名寄市教育委員会と適切な連携を図りながら、「名寄市小中学校いじめ防止サミット」などいじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。

## 7 へき地・複式教育

- (1) 小規模校の特性を生かし、地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進を図る指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 地域の自然や文化などの教育資源を活用し、体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫に努める。
- (3) 児童生徒に学び方を身に付けさせ、主体的な学習を促す「直接指導」や「間接指導」の充実に努める。
- (4) 児童生徒の社会性や創造性の伸長を図るため、集合学習や交流学习等の促進に努める。また、集合学習や交流学习等の計画、実施を通して、授業実践交流や研修の共同化に努める。

## 8 キャリア教育

- (1) 各学校において定めるキャリア教育の目標や内容、育成すべき能力や態度、各教科等との関連、指導方法や指導体制、評価の観点などを示した全体計画及び年間指導計画を作成、実施し、不断の評価、改善に努める。
- (2) 社会見学や職場体験活動等を効果的に実施し、児童生徒の望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実に努める。
- (3) 児童生徒が自分のよさに気付き、将来の夢や目標の実現に向かって学び続けることができるよう、教育相談や進路指導等の充実に努める。

## 9 健康・安全教育

- (1) 生涯スポーツの観点に立ち、スキー、カーリングなど地域の教育資源を生かした活動や縄跳びなど各学校の特色を生かした体力づくりの「1校1実践」の取組等の充実に努める。
- (2) 児童生徒一人一人の運動経験や技能の程度などに応じた指導や児童生徒自らが体力・運動能力の課題の解決に取り組む活動の工夫に努める。
- (3) 学校における適切な環境衛生を保持するとともに、疾病や感染症予防などに対する意識を高め、児童生徒の健康の保持増進を図る指導の充実に努める。
- (4) 児童生徒の発達段階に応じた指導内容を明確にし、性や大麻等の薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底に努める。
- (5) 家庭と連携して「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実施や給食指導等を通して正しい食生活の習慣化を図るなど食育の充実に努める。
- (6) 児童の口の健康と虫歯予防のため、全小学校でフッ化物洗口の適切な実施に努める。
- (7) 学校・家庭・地域が連携した防犯教室や避難訓練の実施など、事件や事故、非常災害時に児童生徒が自ら安全に行動できる力を育てる指導の充実に努める。

## 10 特別支援教育

- (1) 教育支援委員会の効果的な運営を推進するとともに関係機関と緊密な連携を図り、就学指導及び中学校における進路指導の充実に努める。
- (2) 児童生徒一人一人の教育的ニーズに適切に対応するため、校内における全校的な支援体制を確立し、特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実に努める。



平成27年度名寄市学校教育推進計画全体構造図

【市 民 憲 章】

- ・自分のまちに誇りと責任をもち、みんなで話し合いながら、住みよいまちをつくります。
- ・からだところの健康を大切に、互いに温かい思いやりをもって、安心して暮らせるまちをつくります。
- ・豊かな自然を守り育て、自然と調和した暮らしの環境をととのえ、快適でうるおいのあるまちをつくります。
- ・楽しく働き、創造力を発揮し、豊かな暮らしを誇れる活力に満ちたまちをつくります。
- ・知性と感性をみがき、こころ豊かな人と薫り高い文化を育み、希望に輝くまちをつくります。

【基 本 理 念】

生命に畏敬の念をもち、他人を思いやる心豊かな児童生徒の育成を期するとともに、自主・自律の精神をもち、しなやかにたくましく生きぬくことのできる人間の育成に努める。

【学 校 経 営 の 方 針】

- 1 学校の自主性・自律性の確立
- 2 確かな学力を育てる教育の推進
- 3 豊かな心を育てる教育の推進
- 4 健やかな体を育てる教育の推進
- 5 学校評価・学校職員評価の工夫
- 6 危機管理体制の確立
- 7 開かれた学校づくり
- 8 学校間の連携・接続の推進

【名寄市教育目標】

- 1 北国の風土に生き たくましく成長する人をはぐくみます
- 2 自ら学び 創造的に生きる人をはぐくみます
- 3 ふれあいを大切に し 心豊かな人をはぐくみます
- 4 勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人をはぐくみます
- 5 新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人をはぐくみます

【学 校 教 育 活 動 の 重 点】

教育課程	学習指導	道徳教育	特別活動	総合的な学習の時間	生徒指導	へき地・複式教育	キャリア教育	健康・安全教育	特別支援教育	国際理解教育	研修活動	通学区域の弾力化
<input type="checkbox"/> 学習指導要領に基づく適切な編成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 基礎的・基本的な知識・技能を習得させる指導の充実 <input type="checkbox"/> 思考力、判断力、表現力等を育成する指導の充実 <input type="checkbox"/> 授業時数の実質的な確保 <input type="checkbox"/> 幼、小、中、高、大など相互の連携や交流	<input type="checkbox"/> 学習規律の徹底 <input type="checkbox"/> 言語活動の充実、言語環境の整備 <input type="checkbox"/> 自主的、自発的な学習の促進 <input type="checkbox"/> 個に応じた指導の充実 <input type="checkbox"/> 学習意欲の向上に生かす評価の工夫 <input type="checkbox"/> 学習習慣の確立を図る指導の充実 <input type="checkbox"/> 情報教育の充実	<input type="checkbox"/> 道徳教育推進教師を中心とした全体計画等の作成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 道徳教育推進教師の役割を明確にした協力体制の整備 <input type="checkbox"/> 道徳的価値の自覚を深める創意工夫ある指導 <input type="checkbox"/> 魅力的な地域教材の活用 <input type="checkbox"/> 「私たちの道徳」の活用方法の工夫	<input type="checkbox"/> 各教科等との関連や市民文化センター大ホール等の活用を工夫した全体計画等の作成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 健全な生活態度等を育てる学級活動の充実 <input type="checkbox"/> 自発的、自治的活動を促す児童会・生徒会、クラブ活動等 <input type="checkbox"/> 集団への所属感等を深める学校行事の工夫	<input type="checkbox"/> 目標や内容、育成する資質や能力等を示した全体計画等の作成、実施、不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 探究的な学習過程の確立 <input type="checkbox"/> 他者と協同して課題を解決する学習活動の展開 <input type="checkbox"/> 市立天文台や北国博物館等の施設や地域の学習環境等の積極的な活用	<input type="checkbox"/> 自己指導能力を育成する取組の充実 <input type="checkbox"/> 望ましい人格を形成する教育相談の充実 <input type="checkbox"/> 問題行動の未然防止、早期発見・早期指導 <input type="checkbox"/> 生徒指導連絡協議会や教育相談センター等の関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 学校いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止等の対策の推進	<input type="checkbox"/> 地域社会と一体となった特色ある教育活動の推進 <input type="checkbox"/> 体験的・問題解決的な活動を取り入れた指導の工夫 <input type="checkbox"/> 学び方を身に付けさせる直接指導や間接指導の充実 <input type="checkbox"/> 集合学習や交流学习等の促進、授業実践交流や研修の共同化	<input type="checkbox"/> 目標や内容、育成する資質や能力等を示した全体計画等の作成、実施不断の評価、改善 <input type="checkbox"/> 社会見学や職場体験活動等の効果的な実施、望ましい勤労観や職業観を育てる指導の充実 <input type="checkbox"/> 将来の夢や目標の実現に向かって学び続ける態度を育てる進路指導等の充実	<input type="checkbox"/> 地域や各学校の特色を生かした体力づくりの「1校1実践」等の充実 <input type="checkbox"/> 個の運動経験や技能に応じた指導の充実 <input type="checkbox"/> 性や薬物乱用防止など健康に関する指導の徹底 <input type="checkbox"/> 「早寝・早起き・朝ご飯」運動など食育の充実 <input type="checkbox"/> 自ら安全に行動できる力を育てる指導の充実	<input type="checkbox"/> 教育支援委員会の効果的な運営、就学指導、進路指導の充実 <input type="checkbox"/> 特別支援教育コーディネーターを中心とした教育支援委員会の機能の充実 <input type="checkbox"/> 特別支援学校や特別支援教育専門家チーム等による教育相談の活用	<input type="checkbox"/> 国際交流の促進 <input type="checkbox"/> ALTなどの効果的な活用	<input type="checkbox"/> 名寄市教育研究所の班研究活動や教育改善プロジェクト委員会の取組との連携 <input type="checkbox"/> 学校の教育課題の解決を図る校内研修の推進 <input type="checkbox"/> 教職経験に応じた研修の充実	<input type="checkbox"/> 郊外小規模校における通学区域外就学制度の設定 <input type="checkbox"/> 基幹産業を活用した特色ある学習活動の工夫

教育関係機関等との連携

## 2 市内小中学校の概要

### 1 市内小学校一覧

(平成27年5月1日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学校名	校長名	所在地	電話・FAX番号	児童数	学級数	教員数	養護	栄養	事務	
名寄小学校	赤松 潤一	西1条南1丁目2番地	01654-3-3304 01654-3-3305	特学	10	5	6			
				普通	229	8	15	1	1	2
名寄南小学校	寺川 利幸	西6条南12丁目55番地2	01654-2-4164 01654-2-4165	特学	9	5	6			
				普通	368	12	18	1		1
名寄東小学校	馬場 信明	東3条南3丁目11番地	01654-2-2041 01654-2-4179	特学	13	4	6			
				普通	132	6	10	1		1
名寄西小学校	三浦 礼子	西7条南1丁目18番地	01654-2-4177 01654-2-4178	特学	9	4	5			
				普通	212	6	10	1		1
中名寄小学校	近藤 初美	字日彰285番地	01654-2-3889 01654-9-5640	特学						
				普通	14	3	4	1		
智恵文小学校	福田 孝夫	字智恵文12線南3番地	01654-8-2241 01654-9-3550	特学	1	1	1			
				普通	31	4	6	1		1
豊西小学校	池田 卓平	西15条南4丁目14番地2	01654-3-4573 01654-3-3973	特学	7	3	4			
				普通	177	6	15	1		1
東風連小学校	中村 庄二	風連町字東風連3396番地	01655-3-3367 01655-3-3397	特学						
				普通	6	2	3			
風連下多寄小学校	村上比呂人	風連町字瑞生1558番地	01655-3-3932 01655-3-3940	特学						
				普通	9	3	4			
風連中央小学校	堀江 充	風連町西町201番地	01655-3-2031 01655-3-2569	特学	9	4	5			
				普通	129	6	11	1	1	1
風連日進小学校		閉校								
小学校 10校 計				特学	58	26	35			
				普通	1,307	56	107	8	2	8

### 2 市内中学校一覧

(平成27年5月1日現在) ※ 教員数等には休職者を含む

学校名	校長名	所在地	電話・FAX番号	生徒数	学級数	教員数	養護	事務	
名寄中学校	和田 明典	字豊栄101番地1	01654-2-2147 01654-2-2148	特学	6	4	5		
				普通	288	9	18	1	1
名寄東中学校	岡本 明彦	西2条北8丁目1番地3	01654-2-3174 01654-2-3175	特学	13	4	6		
				普通	286	9	18	1	1
智恵文中学校	向山 浩	字智恵文11線北2番地	01654-9-3010 01654-9-3011	特学	10	2	3		
				普通	11	2	6	1	1
風連中学校	土肥 哲哉	風連町新生町167番地1	01655-3-2026 01655-3-2266	特学	9	4	5		
				普通	84	3	10	1	1
風連日進中学校		閉校							
中学校 4校 計				特学	38	14	19		
				普通	669	23	52	4	4

※小・中学校とも電話・FAX番号欄は上段が電話番号、下段がFAX番号



### 3 小中学校児童生徒数の推移

#### (1) 小学校

年次	区分	学校数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	児童数
平成25年度	風連地区	3	38	23	24	22	37	30	174
	名寄地区	7	228	190	209	215	233	215	1,290
	計	10	266	213	233	237	270	245	1,464
平成26年度	風連地区	3	22	38	23	24	22	38	167
	名寄地区	7	204	225	187	203	213	223	1,255
	計	10	226	263	210	227	235	261	1,422
平成27年度	風連地区	3	23	22	38	23	24	23	153
	名寄地区	7	210	201	220	179	197	205	1,212
	計	10	233	223	258	202	221	228	1,365

#### (2) 中学校

年次	区分	学校数	1年	2年	3年	生徒数
平成24年度	風連地区	1	27	33	37	97
	名寄地区	3	198	167	211	576
	計	4	225	200	248	673
平成25年度	風連地区	1	30	27	33	90
	名寄地区	3	207	192	165	564
	計	4	237	219	198	654
平成26年度	風連地区	1	36	30	27	93
	名寄地区	3	218	206	190	614
	計	4	254	236	217	707

### 4 中学校卒業生の進路状況

年次	区分	卒業生数	進学者		就職者		その他	
			人数	率(%)	人数	率(%)	人数	率(%)
平成25年 3月	風連地区	41	40	97.6	1	2.4		
	名寄地区	197	196	99.5			1	0.5
	計	238	236	99.2	1	0.4	1	0.4
平成26年 3月	風連地区	37	37	100.0				
	名寄地区	212	212	100.0				
	計	249	249	100.0				
平成27年 3月	風連地区	33	33	100.0				
	名寄地区	165	165	100.0				
	計	249	249	100.0				

### 3 幼稚園教育

本市には、私立幼稚園が5園あり、それぞれの園において幼稚園教育要領に基づき教育課程を編成し、特色ある教育活動を行っています。市はこれまで幼児教育の振興と幼稚園経営の充実・安定のため助成・支援を行っています。

また、小学校との日常的な連携を密にし、小学校教育への円滑な接続・移行が図られるよう努めます。

#### 1 名寄市内の幼稚園（いずれも私立幼稚園）

(平成27年5月1日現在)

幼稚園名	住 所	電 話	代表者	設立年月日	就園状況			合 計
					3歳児	4歳児	5歳児	
学校法人 山崎学園 光名幼稚園	西2条南10丁目 1番地	01654- 2-4741	園長 山崎 博信	S33. 6. 10	19	32	33	84
学校法人 北海道キリスト教学園 名寄幼稚園	大通南2丁目14 番地	01654- 3-0280	園長 中川 貞恵	S25. 9. 1	35	29	49	113
学校法人名寄大谷学園 名寄大谷認定こども園 名寄大谷幼稚園	西5条南2丁目 10番地	01654- 2-2668	園長 白井 慶子	S33. 5. 6	34	37	33	104
学校法人 旭川カトリック学園 名寄カトリック幼稚園	西3条南4丁目 17番地	01654- 2-2632	園長 長尾 俊宏	S25. 9. 13	34	38	32	104
学校法人 風連学園 風連幼稚園	風連町西町284 番地	01655- 3-2133	園長 加藤 紀子	S29. 5. 10	11	19	18	48

#### 2 幼稚園教育振興事業

- ・私立幼稚園振興補助（幼稚園経営の助成）
- ・幼稚園就園奨励費補助（入園料及び保育料の助成）

※ 平成22年度より幼稚園教育振興事業の担当窓口がこども未来課に変更となりました。

## 4 学校給食センター

### 1 施設の概要等

- ・ 名 称 名寄市学校給食センター  
TEL 01654-2-4307 (FAX 2-4308)
- ・ 位 置 〒096-0035  
北海道名寄市西5条北10丁目54番地6
- ・ 開設年月 平成3年12月改築 (平成4年1月供給開始)
- ・ 改修工事 平成18年12月 (風連町合併に伴う改修工事)
- ・ 敷地面積 3,257.75㎡
- ・ 建物面積 997.163㎡ (建築基準法1,104.789㎡)
- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造一部2階建
- ・ 排水処理施設 80㎡ (回転円板方式)



### 2 名寄市学校給食センターの概要

名寄の学校給食は、戦後混乱期の昭和22年(1947年)に名寄小学校で始まりました。

この給食は、父母が食材を持ち寄って行われたボランティアによるものであったと記録に残っております。

本格的に学校給食が開始したのは昭和41年(1966年)になってからであり、現名寄小学校の敷地に学校給食センターが開設され各小中学校に給食が提供されるようになりました。

当時は児童生徒数も多く、1日約6,300食を供給しておりました。

その後、このセンターは26年間使用いたしましたが施設の老朽化に伴い、平成4年1月より最新設備の整った現在の学校給食センターに移転し、現在に至っております。

### 3 名寄市の学校給食の沿革

昭和22年	名寄小学校で学校給食開始
昭和23年	名寄南小学校で学校給食開始
昭和40年 9月	センター建設着工（名寄市西1条南1丁目）
昭和40年12月	センター完成（鉄筋ブロック造一部2階建・470.55㎡）
昭和41年 4月	センター方式で全小中学校へ学校給食開始（6,254食）
昭和45年 8月	食缶・食器の配送を廃止し、パック方式に
昭和49年 6月	使い捨て容器を廃止し、回収食器に
昭和52年 9月	米飯給食開始
昭和61年 6月	パック方式を廃止し、食缶方式に
昭和63年 1月	もち給食開始
昭和63年 4月	赤飯給食開始
平成 3年 5月	現センター建設着工
平成 3年12月	現センター完成
平成 4年 1月	供給開始
平成 5年 4月	アレルギー給食開始
平成 6年 5月	会食型高齢者給食開始（随時）
平成 7年 7月	宅配型高齢者給食開始（毎週 金曜日）
平成 9年 5月	サテライト型デイサービス給食開始（毎週 月・水・金曜日）
平成15年 2月	国体給食
平成18年12月	風連町・名寄市合併に伴う改修工事
平成19年 2月	学校給食センターの部分的民営化に向けて検討
平成19年 4月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食センターの統合
平成19年 4月	会食型・宅配型高齢給食の民営化
平成19年 4月	風連町・名寄市合併に伴う学校給食会の統合

### 4 学校給食センターの状況

- ・平成27年度事業計画

小中学校 全校2,288名 (児童生徒2,072名+教員216名)	小学校10校1,365名+教員141名 中学校 4校 707名+教員75名	293,670食/年 152,490食/年
保育所（僻地）、幼稚園、試食等		28,000食/年
年間稼働日数（209日）		474,160食/年
1日当たり平均食数		2,269食/日

- ・平成27年度学校給食センター稼働日 209日

1学期	4月7日～7月24日	74日間
2学期	8月17日～12月25日	87日間
3学期	1月18日～3月25日	48日間
合 計		209日間

・給食費

		一食単価	
小 学 校	低学年（1・2年生）	250円	H 27 年 度 改 正
	中学年（3・4年生）	252円	
	高学年（5・6年生）	254円	
中 学 校		297円	

・給食の内容

米 飯	週3.5回
パ ン	週0.5回（2週間に1回）
麵 類	週 1回

・職員構成

（35名）

（平成27年4月1日現在）

市職員			道職員	嘱託職員	臨時職員		
所長	総務係長	調理師	栄養教諭	配送・ボイラー	栄養士	調理職員	調理パート
1	1	0	2	6	2	2	21

・特色

- ① 平成5年4月より、食物アレルギーを持つ児童・生徒が健康な生活を営めるよう、家庭の食事療法に協力するという立場でアレルギー給食を実施しています。
  - ・アレルギー給食（平成27年5月1日現在32名の児童生徒へ供給）
    - 小学校（児童） 26名
    - 中学校（生徒） 6名
- ② 米飯、魚を基本にした日本型給食です。使用する食材料は地場産のものを活用することで安全性を図りながら、栄養バランスにも配慮した献立メニューを専門の栄養士が立案します。
- ③ 季節の行事食を提供。（各 節句かしわもち、さくらもち、大好きパン、ケーキ等）学校給食の献立に地域の郷土料理や伝統料理を取り入れることは、国や地域の伝統文化を継承していくための関心や意欲を高める上で大きな教育効果が期待できます。
- ④ 地場産品の活用
 

地場産業の育成に繋がるということで、地場産食材を積極的に取り入れています。地元米粉・もち米粉を使用したパンの提供も行い、地場産米の消費拡大を図っています。

自然との関わり、大地の恵み、地場産業に携わる人々を思い起こしてもらえればと考えております。

学校給食において地場産物を使用することにより、児童生徒が学校給食の食材を「生きた教材」として、地場産物の活用の意味や地域の産業、働く人々について理解するとともに、地域社会に対する誇りや愛情を育てることができます。

## 5 名寄市立大学

### 名寄市立大学短期大学部

#### 1 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の理念・目的・教育目標

##### (1) 名寄市立大学

###### ①理念

ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

###### ②目的

◎名寄市立大学は、高度な知識と技術および高い倫理性を有し、保健・医療・福祉の連携と協働を支えうる専門職を育成する。

◎名寄市立大学は、地域が抱える種々の課題について研究し、それらを解決することによって新しい未来をひらく。

###### ③教育の目標

◎多様でかけがえのない存在である「ひと」への理解を深めるとともに、自らの人間性と能力を高める力を育む。

◎専門領域の知識や技術を高めるとともに、自らが課題を発見し、課題解決に主体的に取り組む力を育む。

◎関連する諸領域を幅広く理解し、支援サービスの連携・協働においてパートナーシップを発揮できる力を育む。

◎幅広い理解力・判断力を養う教養や社会問題への関心を持ち続ける心を育む。

◎地域社会はもとより、人類が抱える諸問題と異文化にも関心を持ち、広く世界の中で自己の存在を位置づけ行動する意欲を育む。

##### (2) 名寄市立大学短期大学部

###### ①理念

ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す。

###### ②目的

◎名寄市立大学短期大学部は、幅広い教養とともに保育学に関する専門的知識、技能を身につけた専門職者を育成する。

◎名寄市立大学短期大学部は、地域社会の生活・福祉・教育の向上と文化の進展に貢献する。

###### ③教育目標

◎多様な子ども・ひとに関する理解を深めるとともに、自らの人間性と専門的能力を高める力を育む。

◎社会的視野から保育を見据え、子どものより良き生活や発達支援に携わる基礎となるヒューマニズムを育む。

◎たくましくしなやかな心身とともに、地域社会に貢献できる主体性を育む。

## 2 名寄市立大学・名寄市立大学短期大学部の現況

(1) 学生の在籍状況 (単位：人)

(平成27年5月1日現在)

学科等 学年	保健福祉学部												短期大学部			合計		
	栄養学科			看護学科			社会福祉学科			学部計			児童学科					
	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計	男	女	小計	男	女	計
1年	4	40	44	4	46	50	19	39	58	27	125	152	3	49	52			
2年	4	39	43	9	44	53	15	37	52	28	120	148	1	48	49			
3年	5	40	45	6	46	52	20	36	56	31	122	153						
4年	4	34	38	8	44	52	15	36	51	27	114	141						
計	17	153	170	27	180	207	69	148	217	113	481	594	4	97	101	117	578	695

(2) 教員組織 (単位：人)

(平成27年5月1日現在)

保健福祉学部	学科名	学長	専任教員数					助手	専任教員1人当たり学生数
			教授	准教授	講師	助教	計		
保健福祉学部	栄養学科	1	4	5	2	6	17	0	9.9人
	看護学科		6	8	4	5	23	1	9.0人
	社会福祉学科		6	7	4	2	19	0	11.4人
	教養教育部		4	5	0	0	9	0	—
	小計	1	20	25	10	13	68	1	8.7人
短大部	児童学科	1(兼)	4	2	2	0	8	0	12.5人
	小計	1(兼)	4	2	2	0	8	0	—
合計		1	24	27	12	13	76	1	

(3) 事務組織 (単位：人)

(平成27年5月1日現在)

事務局長	課	課長	係長	係	事務補助	図書業務	就職支援	計
1	総務課	1	1	3	7	8	—	
	教務課	1	2	4	3	—	—	
	学生課	(1)	3	—	—	—	2	
1		2	6	7	10	8	2	36

(4) 平成27年度入試結果 (単位:人)

(平成27年5月1日現在)

保健福祉学部	入試	栄養学科 (入学定員40人)					看護学科 (入学定員50人)					社会福祉学科 (入学定員50人)				
	区分	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
	推薦	15	52	52	15	3.5	20	62	62	20	3.1	20	33	33	20	1.7
	社会人	若干名	0	0	0	—	若干名	4	4	0	—	若干名	0	0	0	—
	一般前期	21	73	70	28	2.5	25	167	144	34	4.2	25	116	104	39	2.7
	一般後期	4	56	19	4	4.8	5	98	33	9	3.7	5	123	34	5	6.8

短期大学部	入試	児童学科 (入学定員50人)				
	区分	募集人員	志願者数	受験者数 A	合格者数 B	倍率 A/B
	推薦	25	32	32	25	1.3
	社会人	若干名	0	0	0	—
	一般	20	42	42	32	1.3
	センター利用	5	19	19	12	1.6

(5) 平成26年度卒業者の就職進学等状況 (単位:人)

(平成27年5月1日現在)

		卒業 者数	就職決定者数		就職率	進学 者数	その 他	備考	
保健福祉学部	栄養学科	40	市内	3	92.5%	0	3		
			道内	24					
			道外	10					
			小計	37					
	看護学科	50	市内	4	100.0%	1	0		看護師就業 42人(市内3人) 保健師就業 7人(市内1人)
			道内	38					
			道外	7					
			小計	49					
	社会福祉学科	47	市内	4	100.0%	0	1		
道内			28						
道外			14						
小計			46						
短期大学部	児童学科	48	市内	4	100.0%	3	1	保育士就業 27人 幼稚園教諭就業 12人	
			道内	35					
			道外	5					
			小計	44					
合計		185		176		4	5		



(6) 平成26年度卒業者の国家資格取得状況 (単位:人)

学科名	国家資格	受験者数	合格者数	合格率(%)	全国新卒合格率(%)
栄養学科	管理栄養士	40	30	75.0%	95.4%
看護学科	看護師	50	50	100.0%	95.5%
	保健師	50	50	100.0%	99.6%
社会福祉学科	社会福祉士	46	26	56.5%	45.4%

(7) 平成26年度卒業者の教員免許取得状況 (単位:人)

保健福祉学部	中学校教諭1種	社会	7
	高等学校教諭1種	公民	7
		福祉	5
	特別支援学校教諭	知的・肢体不自由・病弱	8
	栄養教諭1種		11
短期大学部	幼稚園教諭2種		48

### 3 図書館の概要

#### (1) 施設の概要

区分	面積		閲覧席数	収納可能冊数
図書館本館(本館1F)	449m <sup>2</sup>	638m <sup>2</sup>	120席	約80,000冊
図書館分館(恵陵館2F)	189m <sup>2</sup>			

#### (2) 図書、学術雑誌、視聴覚資料、電子情報等の整備状況

##### ○蔵書数(単位:冊)

年度	本館		分館		総和書数	総洋書数	総蔵書数
	和書	洋書	和書	洋書			
2013	56,209	2,216	25,161	1,199	81,370	3,415	84,785
2014	57,101	2,296	26,126	1,194	83,227	3,490	86,717

##### ○逐次刊行物(単位:冊)

年度	和雑誌						洋雑誌					雑誌総数
	栄養	看護	社会福祉	児童	共通	総数	栄養	看護	社福児童	共通	総数	
2013	19	72	38	19	23	171	15	7	2	0	24	195
2014	19	72	38	19	23	171	15	7	2	0	24	195

##### ○視聴覚資料数

年度	CD	DVD	ビデオ	カセットテープ	紙芝居	CD-	総数
						ROM	
2013	127	432	854	6	55	10	1,484
2014	127	553	843	6	55	10	1,594

##### ○電子ジャーナル・データベース利用(平成27年3月31日現在)(単位:ダウンロード数)

メディカルオンライン	CiNii		医中誌		聞蔵II	EBSCO	
	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数		アクセス数	検索数
DL数	アクセス数	検索数	アクセス数	検索数	アクセス数	アクセス数	検索数
291	6,531	31,546	3,291	10,384	198	725	2,877

##### ○図書受入(平成27年3月31日現在)(単位:冊)

種類	図書	雑誌
冊数・誌数	1,824(2,043)	233(205)
全国平均	2,566(2,086)	227(245)

※平均は、平成25年度学術情報基盤実態調査-単科公立大学 (括弧内は前年度のデータ)

(3) 図書館利用状況

○図書貸出状況（平成27年3月31日現在）

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
総計	16,293	67.6	6,517	27
	(15,938)	(66.1)	(6,306)	(26.2)
学生	14,163	58.8	5,631	23.4
	(13,894)	(57.7)	(5,517)	(22.9)
教職員	1,524	6.3	611	2.5
	(1,435)	(6.0)	(534)	(2.2)
学外者	586	2.4	260	1.1
	(585)	(2.4)	(240)	(1.0)
団体等	20	0.1	15	0.1
	(24)	(0.10)	(15)	(0.10)

※括弧内は前年度のデータ（開館日数 241日）

○学科別貸出状況（平成27年3月31日現在）

	貸出冊数		貸出人数	
	冊	冊/日	人	人/日
栄養	3,758	15.6	1,444	6
	(3,572)	(14.8)	(1,492)	(6.2)
看護	4,320	17.9	1,679	7
	(4,697)	(19.5)	(1,802)	(7.5)
社会福祉	3,653	15.2	1,557	6.5
	(3,057)	(12.7)	(1,313)	(5.4)
児童	2,432	10.1	951	3.9
	(2,568)	(10.7)	(910)	(3.8)

※括弧内は昨年度のデータ

#### 4 施設の概要

施設	摘要		面積
校地等	校舎敷地		42,400㎡
	運動場(グラウンド)		29,633㎡
	計		72,073㎡
校舎	本館(看護学科・児童学科・図書館)	RC造 3階建(一部2階建)	8,652㎡
	新館(管理、情報処理・栄養実習室)	RC造 3階建(一部2階建)	3,712㎡
	恵陵館(社会福祉学科・栄養学科)	RC造 3階建	6,932㎡
体育館等	①体育館(本館)②多目的ホール(恵陵館)	鉄骨造 平屋建	2,229㎡
学生会館	学生食堂・サークル室・同窓会室等	RC造 2階建	511㎡
学生寮	収容定員39人	RC造 3階建	1,090㎡

## 6 就学の助成

### 1 就学援助

経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、その就学に必要な援助を行います。

(1) 平成27年度就学援助費の内訳（ただし、※は平成26年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校	支 給 内 容
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 16,400	円 18,800	小学校又は中学校に入学する児童生徒が通常必要とする学用品及び通学用品
学 用 品 費	1～6年	9,200	—	各教科及び特別活動の学習に必要なとされる学用品
	1～3年	—	17,900	
通 学 用 品 費	2～6年	1,800	—	通学用靴、雨傘等の通学用品に係る経費
	2～3年	—	1,800	
体育実技用具費	スキー	※ 26,836	※ 36,276	体育授業の参加に必要な体育実技用具
	柔道着	—	4,104	
宿 泊 校 外 活 動 費		※ 68	※ 3,851	学校行事として宿泊を伴う校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科料などの経費
修 学 旅 行 費		※ 21,149	※ 52,215	修学旅行に必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
学 校 給 食 費	1～6年	※ 46,788	—	学校給食に要する食費の金額
	1～3年	—	※ 53,751	
医 療 費		※ 11,021	※ 9,575	伝染病又は学習に影響のある疾病（学校病）にかかり、学校から治療の指示を受けた場合、その治療に要する費用（※学校病とは、トラコーマ及び結膜炎、白癬、疥癬及び濃痂疹、中耳炎、慢性副鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫病をいう。）
ク ラ ブ 活 動 費		—	8,000	部活動加入者に対し、部活動の実施に必要な用具に係る経費（部活動支援費・後援会費などは除く）
生 徒 会 費		—	(上限)5,300	生徒会費として一律に負担すべきこととなる経費
P T A 会 費		(上限)3,290	(上限)4,070	P T A活動に要する費用として一律に負担すべきこととなる経費

(2) 平成24・25・26年度就学援助の状況

(単位：千円)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員	237	236	230
	決算額	16,247	16,433	16,701
中学校	実施人員	140	144	112
	決算額	14,688	16,360	12,824
計	実施人員	377	380	342
	決算額	30,935	32,793	29,525

## 2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するための援助を行うことにより、特別支援教育の振興を図ります。

(1) 平成27年度就学奨励費の内訳（ただし、※は平成26年度実績の平均支給額）

区 分		小 学 校	中 学 校
新入学児童生徒 学用品費等	1年	円 10,235	円 11,775
学用品費等購入費	2～6年	5,710	—
	2～3年	—	11,160
体育実技用具費	スキー	(上限) 13,010	(上限) 18,670
	柔道	—	(上限) 3,755
宿泊校外活動費		※ 25	※ 2,293
修学旅行費		※ 10,826	※ 27,029
学校給食費	1～6年	※ 22,321	—
	1～3年	—	※ 26,881
通学費	通級指導教室	※ 1,277	—
	特別支援学級	※ 7,791	※ 5,970

(2) 平成24・25・26年度特別支援教育就学奨励費の状況

(単位：千円)

区 分		平成24年度	平成25年度	平成26年度
小学校	実施人員	41	46	40
	決算額	1,394	1,744	1,256
中学校	実施人員	8	7	18
	決算額	461	352	893
計	実施人員	49	53	58
	決算額	1,855	2,096	2,149

### 3 育英資金利子補給制度

名寄市では、学業成績が優秀であって経済的に就学が困難な学生及び生徒に対して、他機関から貸付けを受けた奨学金並びに修学資金にかかる利子の一部を補給する制度を次により実施しています。

#### (1) 奨学生の資格

- ① 親又はこれに代わるべき者が名寄市民であること。
- ② 大学院、大学、専修学校（専門課程）、各種学校、高等専門学校及び高等学校に在学していること。
- ③ 学業成績優秀、性行善良であること。
- ④ 学資の支弁が困難であること。

#### (2) 対象者

上記の資格を有した者で、独立行政法人日本学生支援機構奨学生として有利子奨学金の貸付けを受けた者又は㈱日本政策金融公庫の修学資金、民間金融機関等の修学制度資金の貸付けを受けた者。

#### (3) 申込期間 毎年10月末日まで

#### (4) 利子補給額

下記基準額（貸付けを受けた額が基準額に満たない場合は、貸付けを受けた額）に対し、

- ① 独立行政法人日本学生支援機構奨学生・・・基準額にその貸付利率を乗じて得た額
- ② 上記以外・・・所得金額によって、基準額に利率3%を限度として補給。

※利子補給基準額：月額

区 分	補給基準額（月額）
大 学 ・ 大 学 院	40,000円
専 門 学 校	30,000円
高 等 専 門 学 校	15,000円
高 等 学 校	10,000円

### 4 育英金貸付事業（風連地区特例区事業）

合併に伴い、平成18年度から5年間の特例区事業として、要件を満たす者に対し教育資金の貸付制度（無利子）を実施していましたが、平成22年度をもって終了しました。

貸付けを行った育英金については、今後も引続き返還していただきます。

## 7 各種助成制度（学校教育課所管）

### 1 名寄市教育振興補助事業

名寄市における文化・スポーツの振興を図るため、名寄市教育振興基金を活用し、全道・全国大会に出場する小中学校児童生徒及び全国大会に出場する高等学校生徒に対し、大会出場に要する費用の一部を助成します。

平成24・25・26年度事業の実績

(単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
申請事業数	38	47	45
補助金交付額	2,670	4,328	3,150
うち小学生	577	1,195	990
うち中学生	2,093	3,051	2,053
うち高校生	0	82	107

### 2 特色ある教育活動助成金交付事業

市内児童生徒の健全育成を目的として、特色ある教育活動を行う者に対し、その活動に要する費用の一部を助成します。

平成24・25・26年度事業の実績

(単位：千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
申請事業数	4	4	4
補助金交付額	84	127	119
うち小学生	34	77	69
うち中学生	0	0	0
うち高校生	0	0	0
うちその他	50	50	50

# 8 名寄市教育研究所

## 平成27年度運営計画

### 1 研究主題

「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」

### 2 研究主題設定の理由

上川管内教育研究会は、研究テーマ「北国に生き、未来を切り拓く子どもの育成 ～心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ『上川教育』の創造～」から、郷土を愛し地域に根ざした教育の実現を目指している。

名寄市教育研究所は、研究主題を「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」と設定し各種事業や研究活動に取り組んできた。本年度も10年目の継続研究主題として設定し、その達成に向けた一層の研究活動の改善充実を図ることが重要である。小学校では平成23年度から、中学校では24年度から全面実施された学習指導要領では、「生きる力」という理念を継承し、それを支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視し、知識・技能の習得と活用力の育成を図るとともに、伝統と文化に関する教育や道徳教育、体験活動の充実等が求められている。

これらを踏まえ、名寄市教育目標（①北国の風土に生き たくましく成長する人 ②自ら学び創造的に生きる人 ③ふれあいを大切にし 心豊かな人 ④勤労と責任を尊び よりよい社会を築く人 ⑤新しい時代を切り拓き 郷土の発展に尽くす人）にも照らし合わせ、名寄市の風土と歴史のもとに培われた文化・芸術を大切にし、郷土を愛する知性と感性に満ちた他を思いやる「心豊かに、たくましく生きぬく児童生徒の育成」に向け、今年度の研究活動を推進する。

### 3 運営の基本方針

- (1) 研究主題の解明にあたっては、テーマと結び付く具体的かつ実践的な研究活動の推進に努める。
- (2) 名寄市教育研究所の事業、研究活動の推進に努める。
- (3) 上川管内教育研究会、上川教育研修センター等と連携し、研究推進体制の充実に努める。
- (4) 授業公開による研究交流や日常の実践的な交流、外部講師・外部施設等の活用を図り、反研修の活性化と研修内容の充実に努める。
- (5) 小中連携を推進することにより、適時適切な課題や情報の発信に努める。
- (6) 全研連、道研連等の関係機関の動向に留意する。
- (7) 名寄市教育改善プロジェクトの成果と課題を踏まえ、各種事業等を推進するよう努める。

### 4 事業

- (1) 所報（名寄市教育・研究紀要含む）の発行
  - ・年3回発行（6月、11月、3月）
- (2) 名寄市教育研究大会の開催
  - ・目的：名寄市教育研究所研究主題の課題解決のために研究委託校の研究実践を助成し、成果の交流深化を図り、名寄市教育の充実・改善に努める。
  - ・平成27年度研究委託校：風連中央小・名寄中
    - 研究委託校は、「学校力向上に関する総合実践事業」、「ほっかいどう学力向上推進事業」の取組を踏まえ、名寄市研究大会を開催し、研究の成果を公開する。
- (3) 研究班一斉研修の実施
  - ・年3回開催（4月、6月、8月）
  - ・まとめの一斉研修日は設定せず、各班の創意工夫により研究活動のまとめを行う。
- (4) 名寄市教育研究発表集会の開催
  - ・講演や調査研究部及び名寄市教育改善プロジェクト委員会の発表を行う。
- (5) 上川管内教育研究会北部地区研究大会への参加・協力
  - ・平成27年10月1日（木）開催



- (6) 調査研究活動の実施
  - ・名寄市の教育課題（名寄市教育改善プロジェクト委員会との連携）や今日的教育課題について調査・分析を行い資料等にまとめる。
- (7) 名寄市小中学校音楽発表会の開催
  - ・平成27年9月30日（水）開催（会場：名寄市民文化センター）
- (8) 各種児童生徒作品展等の開催・協力
  - ・上教研北部地区Bブロック巡回作品展
  - ・市民文化祭小中学校児童生徒作品展
  - ・書道紙上作品展
  - ・読書感想文コンクール
- (9) その他
  - ・専門委員会等の活動の実施

## 5 事業推進の基本方針

名寄市教育研究所は北海道教育研究所連盟（道研連）に所属し、上川管内の市町村教育研究会で構成されている上川管内教育研究会（上教研）との連携を図りながら事業を推進している。今後も、「名寄市教育研究所条例」を踏まえ、名寄市の教育発展のために、各種の提言、事業、研究活動等を推進する等一層の活性化を図る。

### (1) 総務部

- ① 各部・事業の連絡調整
  - ・各種事業の企画・運営について主管する各部と連携を図りながら円滑な運営に努める。
- ② 関係団体との連携
  - ・道研連、上教研などの関係団体との連携協力を推進し、幅広い情報収集に努める。
- ③ 所報の発行
  - ・年3回の所報の発行により、研究体制や研究内容・活動内容等の情報の共有化を図る。
- ④ 会計業務
  - ・適正で効果的な執行に努める。
  - ・各部の業務が効果的に推進できるよう工夫して執行する。

### (2) 調査研究部

名寄市の教育課題（名寄市教育改善プロジェクト委員会との連携）や今日的教育課題について調査研究を実施し、集計結果・分析・課題解決の方策等を報告する。

### (3) 教育研究部

- ① 研究班活動
  - ・名寄市教育研究所研究主題に基づき、課題解決のための実践研究を推進する。
  - ・下川町教育研究会の研究班と連携し、研究の深化を図る。
  - ・外部人材、施設を有効に活用し、情報収集や交流を図る。
- ② 名寄市小中学校音楽発表会
  - ・各校の音楽教育の成果を児童生徒による音楽発表を通して広く一般市民に公開し、音楽に対する理解を深め、豊かな情操を育てる。
- ③ 名寄市教育研究大会 研究委託校制度
  - ・名寄市教育研究所の研究主題解決のために、研究委託校制度を設け、研究実践を助成し、名寄市教育研究大会での公開授業、研究協議を通して名寄市の教育発展に努める。
- ④ 名寄市教育研究発表集会
  - ・名寄市教育改善プロジェクト委員会の報告やその取組と関連した講演に焦点化して研修を深める。（上記に伴い、各班の成果発表は、研究紀要「名寄市教育」に掲載し、誌面報告とする。）
- ⑤ 各種児童生徒作品展等の開催・協力
  - ・作品等の出品、審査などにより、各校の交流を図り、技術の向上とともに豊かな情操を養う。

### (4) その他

必要に応じて専門委員会を設置し、調査報告、提言等を行う。

## 名寄市教育改善プロジェクト委員会の取組

### 1 推進のテーマ

「児童生徒に『生きる力』を育み、夢と希望を拓く名寄市教育の創造 ～学校力を高める取組を通して～」

### 2 推進の重点

- ◎ 確かな学力の育成（平成24～26年度）
- ◎ 豊かな心、健やかな体の育成（平成26～28年度）

### 3 推進計画の概要

児童生徒に「生きる力」を育むために、「学習指導の工夫改善」「校内研修（研究）の充実」「教育資源等の活用」の3つの研究グループをつくり、平成24年度から5か年計画で研究を進める。推進の重点を、平成24年度から26年度までは「確かな学力」の育成として、また、平成26年度から28年度までは「豊かな心」と「健やかな体」の育成として実践的で効果の上がる方策を構築し、市内の全小中学校で共通理解を図りながら取組を進める。

### 4 今年度の主な取組

- (1) 学習指導の工夫改善に関する研究グループ
  - 道徳の時間の指導の充実に関すること
  - 学習規律の徹底、学習習慣の確立等、過年度研究内容の継続・充実 等
- (2) 校内研修（研究）の充実に関する研究グループ
  - 運動能力調査等の結果の分析、課題解決に向けた効果的な指導に関すること
  - 過年度作成資料の活用、校内研修の情報交流等、資質向上の取組推進 等
- (3) 教育資源等の活用に関する研究グループ
  - 「わたしたちの道徳」の効果的な活用等、家庭や地域の理解や協力を得た道徳教育の推進
  - 「家庭で取り組む7つのポイント」の徹底等、地域人材や施設、関係機関と連携した健康・安全教育の推進 等

## 9 その他学校一覧

(平成27年5月1日現在)

	学 校 名	校長名	課 程	学級数	生徒数	所在地	電 話 ( F A X )
高 等 学 校	道立	名寄高等学校	丸山 年民	普通科	12	471	徳田204-1 (事務室TEL・FAX) 3-6841 (職員室TEL) 3-6842
				計	12	471	
	道立	名寄産業高等学校 (光凌キャンパス)	増田 雅彦	電子機械科	3	91	西5北5 (事務室TEL・FAX) 2-3066 (職員室TEL) 2-3067
				建築システム科	3	66	
				生活文化科	3	86	
	道立	名寄産業高等学校 (名農キャンパス)	増田 雅彦	酪農科学科	3	44	緑丘3-3 (TEL) 2-4191 (FAX) 2-4192
計	12	287					
各 種 学 校	私立	上川北部医師会 附属准看護学院	吉田 肇	准看護師科	2	36	西5北2 (TEL) 2-5311 (FAX) 2-5621
				計	2	36	